

2026 年 10 月 23 日

各位

上 場 会 社 名 日本フェンオール株式会社
代 表 者 代表取締役社長 中野 誉将
(コード番号 6870 東証スタンダード)
問合せ先責任者 執行役員管理本部長 梅田 卓資
電 話 0 3 - 3 2 3 7 - 3 5 6 1

ガス消火設備容器弁の型式認定の取消及び開放装置の回収・交換について

この度、当社が製造・販売しているガス消火設備の容器弁（認定番号よ-092 号、型式記号 NFCV-1、以下「対象容器弁」といいます。）について、その付属品である容器弁開放装置の品番追加を行った際に一般財団法人日本消防設備安全センター（以下「安全センター」といいます。）への申請に不備があったことが判明いたしました。

申請が漏れていた容器弁開放装置及び未申請期間は以下のとおりです。

容器弁（認定番号）	容器弁開放装置（品番）	未申請期間
よ-092 号	HPR-400	1999 年 1 月～2011 年 4 月
	HPR-500	2008 年 7 月～2010 年 2 月
	HPR-510	2011 年 2 月～2014 年 9 月

当社は本事案を安全センターへ報告し、上記の未申請期間に出荷された各容器弁開放装置を用いた対象容器弁について、実際に設置されている製品の中からサンプル品を回収し、安全センター立会いの下で、性能確認試験を実施いたしました。

当該試験の結果、品番 HPR-400 及び品番 HPR-500 の容器弁開放装置を用いた対象容器弁については、開放装置としての性能は確認できましたが、品番 HPR-510 の容器弁開放装置（以下「対象開放装置」といいます。）を用いた容器弁について、低温試験においてガスが確実かつ円滑に放出されない事象（以下「本事象」といいます。）が確認されました。

本来行うべき申請手続に不備があったことに加え、性能確認試験において正常な作動を示さなかったことから、対象容器弁は型式認定が取り消され、また、対象開放装置については回収・交換する措置を講じることとなりました。

つきましては、対象開放装置については、未申請期間に出荷されたものであるかにかかわらず、全数回収・交換を実施することといたします。

現在までのところ、設置済の製品に関しては、本事象又はそれに類似する事象は発生しておりません。また、対象開放装置の全数交換を行うまでの間に、万が一本事象が発生した場合においても、開放装置を手動で操作する際の注意点をお守りいただくことで、継続してご使用いただけると判断しております。なお、低温試験環境（零下 20 度）に近い温度環境の設置場所については、優先的に回収・交換を進めるとともに注意喚起を行ってまいります。

また、品番 HPR-400 及び品番 HPR-500 の容器弁開放装置につきましては、未申請期間に出荷された製品に対する性能確認試験において開放装置としての性能を確認することができましたので、当社といたしましては現在お客様の施設に設置されているこれらの開放装置は引き続きご使用いただけるものと判断しております。

お客様をはじめ、関係者の皆様には多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしますこと、心より深くお詫び申し上げます。

今後は品質管理体制を一層強化し、再発防止に努めてまいります。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 対象容器弁

型式認定が取り消された容器弁

種別	容器弁
用途	二酸化炭素起動容器用
型式記号	NFCV-1
認定番号	よ-092 号

2. 対象開放装置

回収・交換を行う開放装置

種別	容器弁開放装置
用途	二酸化炭素起動容器用
品番	HPR-510
販売期間	2011 年 2 月から 2025 年 10 月
出荷台数	4,001 台
※ 接続容器弁認定番号(型式記号)	よ-092 号 (NFCV-1)

3. お問い合わせ窓口

日本フェンオール株式会社 営業本部 TEL：03－3237－3561

※「容器弁開放装置回収の件について」とお尋ねください。

4. 業績に与える影響

本件が当期の業績に与える影響は精査中でございます。

今後、事態の進展により公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上